



show コマンド

この章では、Cisco NX-OS ユニキャスト ルーティング情報ベース (RIB) と転送情報ベース (FIB) の **show** コマンドについて説明します。

show forwarding

転送情報を表示するには、**show forwarding** コマンドを使用します。

```
show forwarding [ip | ipv4 | ipv6] {adjacency | interfaces | route | trace [clear] | table id | pss | route} [ethernet | port-channel | vlan slot] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

ip	(任意) IPv4 転送情報を表示します。
ipv4	(任意) IPv4 転送情報を表示します。
ipv6	(任意) IPv6 転送情報を表示します。
adjacency	隣接関係情報を表示します。
interfaces	モジュール上のインターフェイスの転送情報を表示します。
route	モジュール上のルートの転送情報を表示します。
trace	モジュール上の転送トレース バッファを表示します。
clear	(任意) モジュール上の転送トレース バッファをクリアします。
table id	ルート テーブルの転送情報を表示します。有効な ID 範囲は 0 ~ 2147483647 です。
pss	永久ストレージからのルート情報を表示します。
route	IP ルーティング テーブルのルート情報を表示します。
ethernet slot	(任意) イーサネットの情報を表示します。スロット範囲は、ハードウェア プラットフォームによって異なります。
port-channel slot	(任意) ポート チャネルに関する情報を表示します。スロット範囲は、ハードウェア プラットフォームによって異なります。
vlan	(任意) VLAN の情報を表示します。スロット範囲は、ハードウェア プラットフォームによって異なります。
vrf vrf-name	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

モジュールで転送情報を表示するには、スーパーバイザで **show forwarding** コマンドを使用します。任意で **attach module** コマンドを使用してモジュールを接続し、モジュールで **show forwarding** コマンドを使用できます。

例

次に、モジュール 2 の転送情報を表示する例を示します。

```
switch# show forwarding route ethernet 2
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip fib	FIB に関する情報を表示します。

show forwarding distribution

転送分散情報を表示するには、**show forwarding distribution** コマンドを使用します。

show forwarding distribution [clients | fib-state]

構文の説明

clients	(任意) ユニキャスト クライアントの転送分散情報を表示します。
fib-state	(任意) ユニキャスト転送情報ベース (FIB) の転送分散ステートを表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、ユニキャスト クライアントの転送情報を表示する例を示します。

```
switch# show forwarding distribution clients
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip fib distribution	FIB に関する分散情報を表示します。

show forwarding distribution ipv6 multicast route

マルチキャスト IPv6 FIB ルートに関する情報を表示するには、**show forwarding distribution ipv6 multicast route** コマンドを使用します。

```
show forwarding distribution ipv6 multicast route [table table_id | vrf vrf-name] [group [source]
| summary]
```

構文の説明

table table_id	(任意) テーブル ID を指定します。有効な範囲は 0x0 ~ 0xffffffff です。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティング/転送) 名を指定します。この名前には最大 32 文字までの英数字を指定できます。
group	(任意) IPv6 グループ アドレスです。
source	(任意) IPv6 送信元アドレスです。
summary	(任意) ルート カウントを指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次の例では、マルチキャスト IPv6 FIB ルートに関する情報を表示する方法を示します。

```
switch(config)# show forwarding distribution ipv6 multicast route
```

```
IPv6 Multicast Routing table table-id:0x80000001
Total number of groups: 5
Legend:
  C = Control Route
  D = Drop Route
  G = Local Group (directly connected receivers)
  O = Drop on RPF Fail
  P = Punt to supervisor

(*, ff00::/8), RPF Interface: NULL, flags: D
  Received Packets: 0 Bytes: 0
  Number of Outgoing Interfaces: 0
  Null Outgoing Interface List

(*, ff01::/16), RPF Interface: NULL, flags: D
  Received Packets: 0 Bytes: 0
  Number of Outgoing Interfaces: 0
  Null Outgoing Interface List

(*, ff02::/16), RPF Interface: NULL, flags: CP
  Received Packets: 0 Bytes: 0
```

■ show forwarding distribution ipv6 multicast route

```
Number of Outgoing Interfaces: 0
Null Outgoing Interface List

(*, ff11::/16), RPF Interface: NULL, flags: D
Received Packets: 0 Bytes: 0
Number of Outgoing Interfaces: 0
Null Outgoing Interface List

(*, ff12::/16), RPF Interface: NULL, flags: CP
Received Packets: 0 Bytes: 0
Number of Outgoing Interfaces: 0
Null Outgoing Interface List
switch#
```

show forwarding distribution multicast

マルチキャスト転送情報ベース（FIB）配信メッセージに関する情報を表示するには、**show forwarding distribution multicast** コマンドを使用します。

show forwarding distribution multicast [messages]

構文の説明

messages (任意) メッセージ情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次の例では、マルチキャスト配信メッセージに関する情報を表示する方法を示します。

```
switch(config)# show forwarding distribution multicast
Number of Multicast FIB Processes Active: 1
Slot      FIB State
   1      ACTIVE
switch#
```

show forwarding distribution multicast client

マルチキャスト転送情報ベース（FIB）配信クライアントに関する情報を表示するには、**show forwarding distribution multicast client** コマンドを使用します。

show forwarding distribution multicast client

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、マルチキャスト FIB 配信クライアントに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show forwarding distribution multicast client
Client-name  Client-id  Shared Memory Name
mrib         1          mrib-mfdm
switch#
```


show forwarding distribution multicast outgoing-interface-list

マルチキャスト Forwarding Information Base (FIB; 転送情報ベース) Outgoing Interface (OIF; 発信インターフェイス) リストに関する情報を表示するには、**show forwarding distribution multicast outgoing-interface-list** コマンドを使用します。

```
show forwarding distribution multicast outgoing-interface-list {L2 | L3} [index]
```

構文の説明

L2	レイヤ 2 OIF リストを指定します。
L3	レイヤ 3 OIF リストを指定します。
<i>index</i>	(任意) OIF リスト インデックスです。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次の例では、レイヤ 3 のマルチキャスト OIF リストに関する情報を表示する方法を示します。

```
switch# show forwarding distribution multicast outgoing-interface-list L3
```

show forwarding distribution multicast route

マルチキャスト転送情報ベース（FIB）配信ルートに関する情報を表示するには、**show forwarding distribution multicast route** コマンドを使用します。

```
show forwarding distribution [ip | ipv4] multicast route [table id | vrf vrf_name] [[group
{group-addr [mask] | group-prefix}] [source {source-addr [source-mask] | source-prefix}] |
summary]
```

構文の説明

ip	(任意) IPV4 情報を指定します。
ipv4	(任意) IPV4 情報を指定します。
table id	(任意) マルチキャストルーティングテーブル ID を指定します。範囲は 0 ～ 2147483647 です。
vrf vrf_name	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティング/転送) 名を指定します。この名前には最大 32 文字までの英数字を指定できます。
group	(任意) IPv4 マルチキャストグループを指定します。
group-addr	IPv4 マルチキャストグループアドレスです。
mask	(任意) グループアドレスのマスクです。
group-prefix	(任意) IPv4 マルチキャストグループプレフィックスです。
source	(任意) IPv4 のマルチキャスト送信元を指定します。
source-addr	IPv4 送信元アドレス。
source-mask	(任意) グループアドレスのマスクです。
source-prefix	(任意) IPv4 マルチキャスト送信元プレフィックスです。
summary	(任意) ルートカウントを表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次の例では、すべてのマルチキャスト FIB 配信ルートに関する情報を表示する方法を示します。

```
switch(config)# show forwarding distribution multicast route
IPv4 Multicast Routing Table for table-id: 1
Total number of groups: 5
Legend:
  C = Control Route
  D = Drop Route
  G = Local Group (directly connected receivers)
  O = Drop on RPF Fail
  P = Punt to supervisor
```

```
d = Decap Route

(*, 224.0.0.0/4), RPF Interface: NULL, flags: D
  Received Packets: 0 Bytes: 0
  Number of Outgoing Interfaces: 0
  Null Outgoing Interface List

(*, 224.0.0.0/24), RPF Interface: NULL, flags: CP
  Received Packets: 0 Bytes: 0
  Number of Outgoing Interfaces: 0
  Null Outgoing Interface List

(*, 224.0.1.39/32), RPF Interface: NULL, flags: CP
  Received Packets: 0 Bytes: 0
  Number of Outgoing Interfaces: 0
  Null Outgoing Interface List

(*, 224.0.1.40/32), RPF Interface: NULL, flags: CP
  Received Packets: 0 Bytes: 0
  Number of Outgoing Interfaces: 0
  Null Outgoing Interface List

(*, 232.0.0.0/8), RPF Interface: NULL, flags: D
  Received Packets: 0 Bytes: 0
  Number of Outgoing Interfaces: 0
  Null Outgoing Interface List
switch#
```

show forwarding inconsistency

転送不一致チェッカーの結果を表示するには、**show forwarding inconsistency** コマンドを使用します。

show forwarding inconsistency [**ip** | **ipv4** | **ipv6**] [**unicast**] **module slot** [**vrf vrf-name**]

構文の説明

ip	(任意) IPv4 転送不一致情報を表示します。
ipv4	(任意) IPv4 転送不一致情報を表示します。
ipv6	(任意) IPv6 転送不一致情報を表示します。
unicast	(任意) ユニキャストルートの転送不一致情報を表示します。
module slot	モジュールの不一致情報を表示します。スロット範囲は、ハードウェア プラットフォームによって異なります。
vrf vrf-name	(任意) VRF インスタンスの不一致情報を表示します。 <i>vrf-name</i> 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

test forwarding inconsistency コマンドの結果を表示するには、**show forwarding inconsistency** コマンドを使用します。

例

次に、モジュール 2 の転送不一致情報を表示する例を示します。

```
switch# show forwarding inconsistency module 2
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear forwarding inconsistency	転送不一致チェッカーをクリアします。
test forwarding inconsistency	転送不一致チェッカーをトリガーします。

show forwarding ipv6 multicast route

IPv6 マルチキャスト ルートに関する情報を表示するには、**show forwarding ipv6 multicast route** コマンドを使用します。

```
show forwarding [vrf {vrf-name | all}] ipv6 multicast route {[group {group | group-addr} |
source {source | source-addr} | module num | vrf {vrf-name | all}] | summary [module num |
vrf {vrf-name | all}]}
```

構文の説明

vrf	(任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティング/転送) インスタンスのルートを表示します。
vrf-name	VRF 名。名前は最大 32 文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。
all	すべての VRF の情報を表示します。
group	(任意) マルチキャスト IPv6 グループアドレスを指定します。
group	プレフィックスの付いたマルチキャスト IPv6 グループアドレスです。
group-addr	マルチキャスト IPv6 グループアドレスです。
source	マルチキャスト IPv6 送信元アドレスを指定します。
source	プレフィックスの付いたマルチキャスト IPv6 送信元アドレスです。
source-addr	マルチキャスト IPv6 送信元アドレスです。
module num	(任意) モジュール番号を指定します。
summary	ルート カウントを表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次の例では、IPv6 マルチキャスト ルートに関する情報を表示する方法を示します。

```
switch(config)# show forwarding ipv6 multicast route
```

```
IPv6 Multicast Routing table table-id:0x80000001
Total number of groups: 0
Legend:
  C = Control Route
  D = Drop Route
  G = Local Group (directly connected receivers)
  O = Drop on RPF failure
  P = Punt to Supervisor

(*, ff00::/8), RPF Interface: NULL, flags: DW
Received Packets: 0 Bytes: 0
```

```
Number of Outgoing Interfaces: 0
Null Outgoing Interface List

(*, ff01::/16), RPF Interface: NULL, flags: DW
Received Packets: 0 Bytes: 0
Number of Outgoing Interfaces: 0
Null Outgoing Interface List

(*, ff02::/16), RPF Interface: NULL, flags: CPW
Received Packets: 0 Bytes: 0
Number of Outgoing Interfaces: 0
Null Outgoing Interface List

(*, ff11::/16), RPF Interface: NULL, flags: DW
Received Packets: 0 Bytes: 0
Number of Outgoing Interfaces: 0
Null Outgoing Interface List

(*, ff12::/16), RPF Interface: NULL, flags: CPW
Received Packets: 0 Bytes: 0
Number of Outgoing Interfaces: 0
Null Outgoing Interface List
switch(config)#
```

show forwarding multicast outgoing-interface-list

マルチキャスト Forwarding Information Base (FIB; 転送情報ベース) Outgoing Interface (OIF; 発信インターフェイス) リストに関する情報を表示するには、**show forwarding multicast outgoing-interface-list** コマンドを使用します。

```
show forwarding multicast outgoing-interface-list [module num] [index]
```

構文の説明

module num	(任意) モジュール番号を指定します。
index	(任意) OIF リスト インデックスです。OIF リスト インデックスは、1 ~ 65535 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、マルチキャスト FIB OIF リストに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show forwarding multicast outgoing-interface-list

  Outgoing Interface List Index: 1
  Reference Count: 1
    Ethernet1/5
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip igmp interface statistics	インターフェイスの IGMP 統計情報をクリアします。
ip igmp static-oif	発信インターフェイス (OIF) にマルチキャスト グループをバインドします。

show forwarding multicast route

IPv4 転送情報ベース (FIB) マルチキャスト ルートに関する情報を表示するには、**show forwarding multicast route** コマンドを使用します。

```
show forwarding [vrf {vrf-name | all}] [ip | ipv4] multicast route {[group {group-addr
[group-mask] | group-prefix} | source {source-addr [source-mask] | source-prefix} | module
num | vrf {vrf-name | all}} | summary [module num | vrf {vrf-name | all}]}
```

構文の説明

vrf	(任意) 指定された Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティング/転送) インスタンスの情報を表示します。
vrf-name	VRF 名。名前は最大 32 文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。
all	すべての VRF の情報を表示します。
ip	(任意) IPv4 を指定します。
ipv4	(任意) IPv4 を指定します。
group	(任意) IPv4 マルチキャスト グループ アドレスを指定します。
group-addr	IPv4 マルチキャスト グループ アドレスです。
group-mask	(任意) IPv4 マルチキャスト グループ アドレス マスクです。
group-prefix	(任意) IPv4 マルチキャスト グループ プレフィックスです。
source	(任意) IPv4 マルチキャスト送信元アドレスを指定します。
source-addr	IPv4 マルチキャスト送信元アドレスです。
source-mask	IPv4 マルチキャスト送信元アドレス マスクです。
source-prefix	IPv4 マルチキャスト送信元プレフィックスです。
module num	(任意) モジュール番号を指定します。
summary	ルート カウントを表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、IPv4 マルチキャスト FIB ルートに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show forwarding multicast route

IPv4 Multicast Routing table table-id:1
Total number of groups: 1
Legend:
  C = Control Route
  D = Drop Route
```



```

G = Local Group (directly connected receivers)
O = Drop on RPF failure
P = Punt to Supervisor
W = Wildcard
d = OTV Decap route

(*, 230.0.0.0/32), RPF Interface: NULL, flags: DG
  Received Packets: 0 Bytes: 0
  Number of Outgoing Interfaces: 1
  Outgoing Interface List Index: 1
    Ethernet1/5 Outgoing Packets:0 Bytes:0
switch#

```

次に、IPv4 マルチキャスト FIB ルートに関するサマリー情報を表示する例を示します。

```

switch# show forwarding multicast route summary

IPv4 Multicast Routing Table for Context "default"
Total number of routes: 1
Total number of (*,G) routes: 1
Total number of (S,G) routes: 0
Total number of (*,G-prefix) routes: 0
Group count: 1
Prefix insert fail count: 9
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear ip mroute</code>	マルチキャストルーティングテーブルをクリアします。

show ip adjacency

隣接情報を表示するには、**show ip adjacency** コマンドを使用します。

```
show ip adjacency [ip-addr | interface] [detail] [non-best] [statistics] [summary]
[vrf vrf-name | all | default | management]
```

構文の説明

<i>ip-addr</i>	(任意) IPv4 送信元アドレス。形式は x.x.x.x です。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス。? を使用してサポートされているインターフェイス タイプを特定します。
detail	(任意) 詳細な隣接関係情報を表示します。
non-best	(任意) 最適な、および最適でない隣接関係情報を表示します。
statistics	(任意) 隣接関係統計情報を表示します。
summary	(任意) 隣接関係情報のサマリーを表示します。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
all	(任意) すべての VRF エントリのネイバー統計情報を表示します。
default	(任意) デフォルト VRF の隣接統計情報を表示します。
management	(任意) 管理 VRF の隣接統計情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show ip adjacency {statistics | detail} コマンドの出力内のカウンタ値は、スーパーバイザ モジュールのスイッチオーバー後に作成されます。

例

次の例では、隣接情報のサマリーを表示する方法を示します。

```
switch# show ip adjacency summary

IP Adjacency Table for VRF default
Total number of entries: 1
Address          MAC Address      Pref Source      Interface
2.2.2.100        000a.000a.000a  1    Static          Ethernet1/2
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show forwarding adjacency	転送隣接関係情報を表示します。

show ip adjacency summary

IP 隣接サマリーを表示するには、**show ip adjacency summary** コマンドを使用します。

show ip adjacency summary

構文の説明 このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、IP 隣接サマリーを表示する例を示します。

```
switch# show ip adjacency summary
I
IP AM Table - Adjacency Summary

  Static   : 1
  Dynamic  : 0
  Others   : 0
  Total    : 1

switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ip arp timeout	ARP を設定します。

show ip fib

転送情報を表示するには、**show ip fib** コマンドを使用します。

```
show ip fib {adjacency | interfaces | route} module slot
```

構文の説明

adjacency	隣接関係情報を表示します。
interfaces	モジュール上のインターフェイスの転送情報を表示します。
route	モジュール上のルートの転送情報を表示します。
module slot	モジュールに関する情報を表示します。スロット範囲は、ハードウェア プラットフォームによって異なります。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

モジュールで転送情報を表示するには、スーパーバイザで **show ip fib** コマンドを使用します。任意で **attach module** コマンドを使用してモジュールを接続し、モジュールで **show ip fib** コマンドを使用できます。

例

次に、モジュール 1 の転送情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip fib route module 1

IPv4 routes for table default/base

-----+-----+-----
Prefix      | Next-hop      | Interface
-----+-----+-----
0.0.0.0/32   Drop          Null0
255.255.255.255/32 Receive       sup-eth1
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show forwarding	FIB に関する情報を表示します。

show ip fib distribution

転送分散情報を表示するには、**show ip fib distribution** コマンドを使用します。

show ip fib distribution [clients | state]

構文の説明

clients	(任意) ユニキャスト クライアントの転送分散情報を表示します。
state	(任意) ユニキャスト FIB の転送分散ステートを表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ライセンスが必要です。

例

次に、ユニキャストクライアントの転送情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip fib distribution clients
```

関連コマンド

コマンド	説明
show forwarding distribution	FIB に関する分散情報を表示します。

show ip load-sharing

IP ロードシェアリング情報を表示するには、**show ip load-sharing** コマンドを使用します。

show ip load-sharing

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ライセンスが必要です。

例

次に、IP ロードシェアリング情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip load-sharing
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip load-sharing	IP ロードシェアリングを表示します。

show ip process

IP プロセスに関する情報を表示するには、**show ip process** コマンドを使用します。

show ip process [*vrf vrf-name*]

構文の説明

vrf vrf-name (任意) VRF インスタンスの名前を指定します。*vrf-name* 引数には、大文字と小文字が区別される最大 32 文字の任意の英数字文字列を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ライセンスが必要です。

例

次の例では、IP プロセスに関する詳細を示します。

```
switch(config)# show ip process
VRF default
  VRF id is 1
  Base table id is 1
  Auto discard is disabled
  Auto discard is not added
  Auto Null broadcast is configured
  Auto Punt broadcast is configured
  Static discard is not configured
  Number of static default route configured is 0
  Number of ip unreachable configured is 0
  Iodlist: 73 74
  Local address list: 1.1.1.1          2.2.2.1          21.1.1.1
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ipv6 process	IPv6 プロセスに関する情報を表示します。

show ipv6 process

IPv6 プロセスに関する情報を表示するには、**show ipv6 process** コマンドを使用します。

```
show ipv6 process [vrf vrf-name]
```

構文の説明	vrf vrf-name	(任意) VRF インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。文字列の「default」と「all」は予約済みの VRF 名です。
デフォルト	なし	
コマンドモード	任意	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。	
例	次の例では、IPv6 プロセスに関する詳細を示します。 <pre>switch(config)# show ipv6 process VRF default VRF id is 1 Auto discard is disabled Auto discard is not added Static discard is not configured Number of static default route configured is 0 Number of ipv6 unreachable configured is 0 Iodlist: 80 Local address list: 2001:0db8::0001 fe80::0218:baff:fed8:3ffd</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	show ip process	IPv4 プロセスに関する情報を表示します。

show ip route

ユニキャスト ルーティング情報ベース (RIB) のルートを表示するには、**show ip route** コマンドを使用します。

```
show ip route [all | addr | hostname | prefix | route-type | interface type number | next-hop addr]
[vrf vrf-name]
```

構文の説明

all	(任意) すべてのルートを表示します。
addr	(任意) IPv4 アドレス。形式は x.x.x.x です。
hostname	ホスト名。名前には、大文字と小文字が区別される 80 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
prefix	(任意) IPv4 プレフィックス。形式は x.x.x.x/length です。長さの範囲は 1 ~ 32 です。
route-type	(任意) ルート タイプ。? を使用してタイプのリストを表示します。
interface type number	(任意) インターフェイスのルートを表示します。? を使用してサポートされているインターフェイスを表示します。
next-hop addr	(任意) このネクストホップ アドレスのあるルートを表示します。形式は x.x.x.x です。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ライセンスが必要です。

例

次に、ルーティング テーブルを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip route all
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip route	ルート テーブルのエントリをクリアします。

show ip static-route

ユニキャスト ルーティング情報ベース (RIB) からのスタティック ルートを表示するには、**show ip static-route** コマンドを使用します。

```
show ip static-route [vrf {vrf-name | all}]
```

構文の説明

vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
all	(任意) すべての VRF 名を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ライセンスが必要です。

例

次に、スタティック ルートを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip static-route
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip route	スタティック ルートを設定します。

show ipv6 adjacency

隣接情報を表示するには、**show ipv6 adjacency** コマンドを使用します。

```
show ipv6 adjacency [ipv6-addr | interface] [detail] [non-best] [statistics] [summary] [vrf
vrf-name]
```

構文の説明

<i>ipv6-addr</i>	(任意) IPv6 送信元アドレス。形式は A:B::C:D です。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス。? を使用してサポートされているインターフェイス タイプを特定します。
detail	(任意) 詳細な隣接関係情報を表示します。
non-best	(任意) ベスト隣接関係エントリと代替隣接関係エントリを表示します。
statistics	(任意) 隣接関係統計情報を表示します。
summary	(任意) 隣接関係情報のサマリーを表示します。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前には最大 63 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次の例では、隣接情報のサマリーを表示する方法を示します。

```
switch# show ipv6 adjacency summary
IPv6 Adjacency Table for VRF default
Total number of entries: 0
Address          Age          MAC Address   Pref Source   Interface
```

関連コマンド

コマンド	説明
show forwarding adjacency	転送隣接関係情報を表示します。

show ipv6 client

内部 IPv6 クライアントに関する情報を表示するには、**show ipv6 client** コマンドを使用します。

show ipv6 client [*name*]

構文の説明	<i>name</i> (任意) クライアントの名前				
デフォルト	なし				
コマンドモード	任意のコマンドモード				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>5.2(1)N1(1)</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。				
例	次に、ICMPv6 の IPv6 クライアント情報を表示する例を示します。 <pre>switch(config-if)# show ipv6 client icmpv6 IPv6 Registered Client Status Client: icmpv6, status: up, pid: 3688, extended pid: 3688 Protocol: 58, pib-index: 2, routing context id: 255 Control mts SAP: 1551 Data mts SAP: 1552 IPC messages to control mq: 3 IPC messages to data mq: 0</pre>				
関連コマンド	<table><thead><tr><th>コマンド</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>show ipv6 process</td><td>IPv6 プロセスに関する情報を表示します。</td></tr></tbody></table>	コマンド	説明	show ipv6 process	IPv6 プロセスに関する情報を表示します。
コマンド	説明				
show ipv6 process	IPv6 プロセスに関する情報を表示します。				

show ipv6 route

ユニキャスト RIB からルートを表示するには、**show ipv6 route** コマンドを使用します。

```
show ipv6 route [addr | hostname | prefix] [route-type][summary] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>addr</i>	(任意) IPv6 アドレス。フォーマットは、A:B::C:D です。
<i>hostname</i>	ホスト名。名前には、大文字と小文字が区別される 80 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>prefix</i>	(任意) IPv6 プレフィックス。形式は A:B::C:D/length です。長さの範囲は 1 ~ 128 です。
<i>route-type</i>	(任意) ルート タイプ。? を使用してタイプのリストを表示します。
summary	(任意) ルート カウントを表示します。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前には最大 63 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、ルーティング テーブルを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ipv6 route
IPv6 Routing Table for VRF "default"

0::/127, ubest/mbest: 1/0
  *via 0::, Null0, [220/0], 18:03:20, discard, discard
fe80::/10, ubest/mbest: 1/0
  *via 0::, Null0, [220/0], 18:03:20, discard, discard
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ipv6 route	ルート テーブルのエントリをクリアします。

show ipv6 static-route

ユニキャスト RIB からスタティック ルートを表示するには、**show ipv6 static-route** コマンドを使用します。

```
show ipv6 static-route [vrf {vrf-name | all}]
```

構文の説明

vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前には最大 63 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
all	(任意) すべての VRF 名を指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、スタティック ルートを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ipv6 static-route  
IPv6 Unicast Static Routes:
```

関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 route	スタティック ルートを設定します。

show routing

ルーティング情報を表示するには、**show routing** コマンドを使用します。

```
show routing [ip | ipv4 | ipv6] [address | hostname | prefix | route-type | clients | hidden-nh interface
type number | next-hop addr | recursive-next-hop [addr]] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

ip	(任意) ネットワークのルーティング情報を表示します。
ipv4	(任意) IPv4 ネットワークのルーティング情報を表示します。
ipv6	(任意) IPv6 ネットワークのルーティング情報を表示します。
address	(任意) IPv4 または IPv6 アドレス。IPv4 アドレスの形式は x.x.x.x です。IPv6 プレフィックスの形式は A:B::C:D です。
hostname	ホスト名。名前には、大文字と小文字が区別される 80 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
prefix	(任意) IPv4 または IPv6 プレフィックス。IPv4 プレフィックスの形式は、x.x.x.x/length です。IPv6 プレフィックスの形式は A:B::C:D/length です。
route-type	(任意) ルート タイプ。? を使用してタイプのリストを表示します。
clients	(任意) すべてのルーティング クライアントを表示します。
hidden-nh	(任意) 非表示になっているネクストホップ情報を表示します。
interface type number	(任意) インターフェイスのルートを表示します。インターフェイスには、次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> mgmt : 管理インターフェイス。デフォルトの管理インターフェイスは 0 です。 vlan : VLAN インターフェイス。VLAN インターフェイスの番号は 1 ~ 4094 です。
next-hop addr	(任意) このネクストホップ アドレスのあるルートを表示します。形式は x.x.x.x です。
recursive next-hop addr	(任意) この再帰ネクストホップ アドレスのあるルートを表示します。形式は x.x.x.x です。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。VRF には、次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> vrf-name : VRF 名。名前には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。 all : すべての VRF を指定します。 default : デフォルト VRF を指定します。 management : 管理 VRF を指定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン ライセンスが必要です。

例 次に、ルーティング テーブルを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip routing
IP Route Table for VRF "default"
'*' denotes best ucast next-hop      '**' denotes best mcast next-hop
'[x/y]' denotes [preference/metric]

0.0.0.0/32, 1 ucast next-hops, 0 mcast next-hops
  *via Null0, [220/0], 00:45:24, local, discard
255.255.255.255/32, 1 ucast next-hops, 0 mcast next-hops
  *via sup-eth1, [0/0], 00:45:24, local
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear ip route</code>	ルート テーブルのエントリをクリアします。

show routing memory estimate

ルーティング メモリ要件の見積もりを表示するには、**show routing memory estimate** コマンドを使用します。

show routing memory estimate [*routes num-routes next-hops num-hop-addresses*]

構文の説明

routes	(任意) ルートの数に応じて必要な、ユニキャスト ルーティング情報ベース (RIB) メモリの見積もりを指定します。
num-routes	ルート数。有効な範囲は 1000 ~ 1,000,000 です。
next-hops	(任意) ルートごとのネクスト ホップの数に応じて必要な、ユニキャスト RIB メモリの見積もりを指定します。
num-hop-addresses	ルート当たりのネクストホップ アドレス数。指定できる範囲は 1 ~ 16 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)NI(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show routing memory estimate コマンドは、選択されたルート数とルート当たりのネクストホップ アドレス数に必要なメモリを見積もるために使用します。

例

次に、ルーティング テーブルを表示する例を示します。

```
switch# show routing memory estimate routes 1000 next-hops 1
Shared memory estimates:
  Current max      32 MB;  27495 routes with 16 nhs
    in-use         1 MB;    11 routes with 1 nhs (average)
  Configured max   32 MB;  27495 routes with 16 nhs
  Estimate         0 MB;   1000 routes with 1 nhs
```

show routing hash

特定の送信元および宛先アドレス用に選択されたルートを表示するには、**show routing hash** コマンドを使用します。

```
show routing hash source-addr dest-addr [source-port dest-port] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

<i>source-addr</i>	送信元 IPv4 アドレス。IPv4 アドレスの形式は x.x.x.x です。
<i>dest-addr</i>	宛先 IPv4 アドレス。IPv4 アドレスの形式は x.x.x.x です。
<i>source-port</i>	(任意) 送信元ポート。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。
<i>dest-port</i>	(任意) 宛先元ポート。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Router Context (VRF) 名を指定します。名前には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ライセンスが必要です。

例

次に、10.0.0.5 から 30.0.0.2 に到達するために選択したルートを表示する例を示します。

```
switch# show routing hash 10.0.0.5 30.0.0.2
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip route	ルートテーブルのエントリをクリアします。

show sockets client

ソケットクライアントに関する情報を表示するには、**show sockets client** コマンドを使用します。

show sockets client [*pid id*] [*raw | tcp | udp*] [*detail*]

構文の説明	pid id	(任意) 特定のプロセスのソケット クライアント情報を表示します。有効な ID 範囲は 1 ~ 65535 です。
	raw	(任意) 未加工クライアントに関する情報を表示します。
	tcp	(任意) TCP クライアントに関する情報を表示します。
	udp	(任意) UDP クライアントに関する情報を表示します。
	detail	(任意) 詳細クライアントに関する情報を表示します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン ライセンスが必要です。

例 次に、UDP ソケット クライアント情報を表示する例を示します。

```
switch# show sockets client udp

Total number of UDP clients: 9

client: syslogd, pid: 4367, sockets: 2

client: ntpd, pid: 4602, sockets: 3

client: ntp, pid: 4591, sockets: 2

client: radiusd, pid: 4586, sockets: 2

client: dhcp_snoop, pid: 5260, sockets: 1

client: pim, pid: 5296, sockets: 1

client: mcecm, pid: 5265, sockets: 1

client: snmpd, pid: 4609, sockets: 2

client: hsrp_engine, pid: 9588, sockets: 2

Statistics: Cancels 12777, Cancel-unblocks 11257, Cancel-misses 0
           Select-drops 1520, Select-wakes 11257,
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear sockets statistics	ソケット統計情報を消去します。
show sockets connection	ソケット接続に関する情報を表示します。
show sockets statistics	ソケット統計情報を表示します。

show sockets connection

ソケット接続に関する情報を表示するには、**show sockets connection** コマンドを使用します。

show sockets connection [*pid id*] [*local address* | *foreign address* | *raw* | *tcp* | *udp*] [*detail*]

構文の説明

pid id	(任意) 特定のプロセスのソケット クライアント情報を表示します。有効な <i>ID</i> 範囲は 1 ~ 65535 です。
local address	(任意) ローカル アドレスが指定されたすべての TCP 接続に関する情報を表示します。 <i>address</i> は IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスにできます。
foreign address	(任意) 外部アドレスが指定されたすべての TCP 接続に関する情報を表示します。 <i>address</i> は IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスにできます。
raw	(任意) 未加工クライアントに関する情報を表示します。
tcp	(任意) TCP クライアントに関する情報を表示します。
udp	(任意) UDP クライアントに関する情報を表示します。
detail	(任意) 詳細クライアントに関する情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ライセンスが必要です。

例

次に、TCP ソケット接続情報を表示する例を示します。

```
switch# show sockets connection tcp

Total number of tcp sockets: 4
Active connections (including servers)
Protocol State/      Recv-Q/      Local Address(port)/
Context             Send-Q       Remote Address(port)
tcp6                LISTEN        0             *(22)
Wildcard            0            *(*)

tcp6                LISTEN        0             *(23)
Wildcard            0            *(*)

tcp                 LISTEN        0             *(161)
Wildcard            0            *(*)

tcp                 ESTABLISHED  0             172.29.231.33(23)
management          4             72.163.177.151(1559)

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear sockets statistics	ソケット統計情報を消去します。
show sockets client	ソケット クライアントに関する情報を表示します。
show sockets statistics	ソケット統計情報を表示します。

show sockets statistics

ソケット統計情報を表示するには、**show sockets statistics** コマンドを使用します。

show sockets statistics [all | raw | raw6 | rawsum | tcp | tcp6 | tcpsum | udp | udp6 | udpsum]

構文の説明

all	(任意) すべてのソケット統計情報を表示します。
raw	(任意) 未加工 IPv4 プロトコル ソケット統計情報を表示します。
raw6	(任意) 未加工 IPv6 プロトコル ソケット統計情報を表示します。
rawsum	(任意) 未加工 IPv4 および IPv6 プロトコル ソケット統計情報のサマリーを表示します。
tcp	(任意) TCP IPv4 プロトコルに関するソケット統計情報を表示します。
tcp6	(任意) TCP IPv6 プロトコルに関するソケット統計情報を表示します。
tcpsum	(任意) TCP IPv4 および IPv6 プロトコルに関するソケット統計情報のサマリーを表示します。
udp	(任意) UDP IPv4 プロトコルに関するソケット統計情報を表示します。
udp6	(任意) UDP IPv6 プロトコルに関するソケット統計情報を表示します。
udpsum	(任意) UDP IPv4 および IPv6 プロトコルに関するソケット統計情報のサマリーを表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ライセンスが必要です。

例

次に、TCP ソケット統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show sockets statistics tcp
TCP v4 Received:
  11622 packets total
  0 checksum error, 0 bad offset, 0 too short, 0 MD5 error
  8782 packets (33566 bytes) in sequence
  0 duplicate packets (0 bytes)
  0 partially dup packets (0 bytes)
  0 out-of-order packets (0 bytes)
  0 packets (0 bytes) with data after window
  0 packets after close
  0 window probe packets, 0 window update packets
  2 duplicate ack packets, 0 ack packets with unsent data
  9349 ack packets (890960 bytes)
TCP v4 Sent:
  9543 total, 0 urgent packets
```



```
3 control packets
9492 data packets (890955 bytes)
0 data packets (0 bytes) retransmitted
48 ack only packets
0 window probe packets, 0 window update packets
TCP v4:
0 connections initiated, 6 connections accepted, 6 connections established
6 connections closed (including 2 dropped, 0 embryonic dropped)
0 total rxmt timeout, 0 connections dropped in rxmt timeout
0 keepalive timeout, 0 keepalive probe, 0 connections dropped in keepalive
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear sockets statistics	ソケット統計情報を消去します。
show sockets client	ソケットクライアントに関する情報を表示します。
show sockets connection	ソケット接続に関する情報を表示します。

